

カツアーバ *Trichilia catigua* Adr.Juss

カツアーバとは

カツアーバは異なる種のいくつかの植物に与えられた一般的な名前であり、主に *Erythroxylum vaccinifolium* (ココの木属)、*Trichilia catigua* (トリヒリア属) に由来し、これ等の樹皮が一般的に流通しているようです。*Trichilia catigua* は大きなカツアーバとも言われる高さ 3~8m の木で、一般的にカツアーバ、タツアバ、カティグアとして知られるブラジルの原産の植物です。ブラジルのインディオたちは民間伝承としてカツアーバ特有の作用を知っており、樹皮を煎じて飲用し民間療法やシャーマニズムで利用されたと伝えられています。カツアーバ特有の作用は男女問わず有用と伝えられています。ガラナ、ムイラブアーマ、ジンジャー他との調合で使用されるとの文献も見受けられました。

1. カツアーバエキス末 4 : 1 5 kg入り

カツアーバ樹皮をエタノール抽出し噴霧乾燥したものです。

賦形剤にはマンジョカ由来のマルトデキストリンを用いています。

ブラジル製造。

